

平成24年度 府立乙訓高等学校学校経営計画

学校経営方針（中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点目標
<p>知・徳・体の調和のある人間の育成に努め「文武両道」をめざす。</p> <p>本府「教育振興プラン」を踏まえ、学習指導要領に即して創意・工夫のある教育課程を編成し、日々の教育活動の充実に努め、進路希望の実現と、心豊かにたくましく生きる人間の育成に努める。</p>	<p>1 学力向上に向け「授業改善」・「自学自習の気風醸成」の取組を一層推進する。「授業改善」については、昨年度に引き続き、本校生の学力実態や進路希望状況に即した授業の在り方を各教科で検討し、「学力の伸張が実感できる」授業を展開する。また、昨年度の前進点を踏まえ、ICTを活用した授業にさらに習熟し、生徒の知的好奇心や興味・関心を喚起する授業実践にも取り組む。自習室の更なる整備などのハード面の充実と同時に、「学びに対するモチベーションアップ」「効果的な学習法の指導」などソフト面での指導強化を図り、家庭学習時間の増加を目指す。</p> <p>2 卒業学年を迎えるスポーツ健康科学科1期生の希望進路実現に向けた取組の強化をはかる。</p>	<p>特色化に向けた学校改革の推進</p> <p>1 スポーツ健康科学科における学習内容と事業等の体系化を確立する。</p> <p>2 学校の特色化のための検討・研究を行うプロジェクト会議を構成する。</p> <p>3 高い希望進路実現に向けた学力向上・定着</p> <p>(1) 高大連携・高大接続を視野に入れた土曜活用事業等の推進を行うとともに、学習室(自習室)の有効活用を図る取組を推進する。</p> <p>(2) 進路指導対策会議の活用により各種模試の結果の分析など、一人一人の状況を把握し、学力向上のための指導と方策を講じる。</p> <p>(3) パナソニック教育財団特別研究指定の仕上げ年を機として、ICT等を活用した授業にさらに習熟し、「生徒に学力をつける授業」の構築に努力する。</p> <p>(4) 基礎学力向上のため、SHRの有効活用等により学習習慣の定着を図る取組を行う。また、定期考査前に、成績不振生徒に対する「学習講座」を取組み、評定「1」の生徒を減少させる取組を継続する。</p> <p>(5) 「乙訓高校学びの流儀」(仮称)の構築に向けた(学習ノートの作成)・(学習クラブの立ち上げ)については、引き続き研究・作業を進める。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	分掌	評価	成果と課題
1 組織運営	組織的な校務運営の推進	<p>(1) 新校務システムの円滑な運用を図り、成績、出欠管理、指導要録、調査書等、職員が能率よく業務をこなすことができる環境を整備する。</p> <p>(2) 教科主任会議をより機能させ、公開授業等を通して授業改善に取り組む。</p> <p>(3) 校内ネットワークを有効に活用し、各分掌・教科からの連絡や生徒の欠席状況等の情報の共有化およびリアルタイム化を行う。</p>	教務		
	生徒募集対策	<p>(1) スポーツ健康科学科については、学科説明会等を積極的に催し、学習意欲の高い生徒の確保に努める。</p> <p>(2) 高大接続コースについては、設置目標を明確にし、より高い進路目標を持つ生徒を確保する。</p> <p>(3) 特に普通科においては、学校説明会、中学校訪、教育機関訪問等により、本校の指導方針や魅力を正しく伝え、乙訓地域からの志願者の回帰を図る。</p> <p>(4) 中学生の進路決定時期に個別の進路相談会を積極的に展開する。</p>	総務企画		

2 学習指導	基礎学力対策、進路実現	<p>(1) 教育課程特例校を申請し、類を越えた講座編成を柔軟に行い、類間で互いに切磋琢磨しながら学力伸長ができる環境を作る。</p> <p>(2) 定期考査前に実施する成績不振生徒対象の「放課後学習講座」の一層の充実化を図ることにより、成績不振者を減少させ、中途退学者、原級留置者の根絶を目指す。</p> <p>(3) 本校の目指すべき教育を検討しながら新学習指導要領に基づく効果的な教育課程を編成し、魅力的かつ信頼される学校を作る。</p> <p>(4) 自主学習の場としての学習室の一層の利用促進を図る。</p> <p>(5) 「おとくにベーシック」「おとくにアカデミア」の時間を活用し、基礎学力の定着及び難関大学入試等に対応できる発展的学力の育成を図る。</p> <p>(6) SHRの遅刻指導の方法を改善することにより遅刻の減少を目指し、より規律ある学習環境を確保する。</p>	教務			
		<p>(1) 高大連携・高大接続を視野に入れた土曜活用事業の推進を図る。</p> <p>(2) AO入試・推薦入試に向けた指導や小論文指導を強化する。</p> <p>(3) 各種模擬テストを積極的に受験させるとともに、実用英語検定をはじめとした資格を積極的に取得させる指導を推進する。</p>	進路			
3 進路指導	進路目標の明確化	<p>(1) 各種進路説明会を通して早期からの進路意識の向上をはかる。</p> <p>(2) 年2回の進路希望調査を実施し、生徒の実態を把握する。</p> <p>(3) 低学年から将来のキャリア形成を意識させる取り組みを進める。</p>	進路			
	学力向上への取組	<p>(1) 進路指導対策会議の活用により各種模試の結果の分析など、一人一人の状況を把握し、学力向上のための指導と方策を講じる。</p> <p>(2) 各教科と連携し、高い希望進路実現に向けた進路補習を展開する。</p> <p>(3) 進路資料室・学習室（自習室）の有効活用し、生徒の自学自習を支援する。</p> <p>(4) FINE SYSTEM等を活用し、生徒一人一人の状況を把握、そこから見えてくる課題を教職員で共有し、生徒の学力向上をはかる取り組みを推進する。</p>	進路			
	学年部との連携強化	<p>(1) 学年団との連携を強化し、生徒の実態に合わせた進路ホームルーム学習を推進する。</p> <p>(2) 学年団との連携のもと、生徒一人一人に対するきめ細かな進路指導を展開する。特に3年生については年2回の進路検討会を通して生徒の進路希望の実現を図る。</p> <p>(3) 進路指導部内に学年担当を置き、学年との連絡・調整をはかる。</p> <p>(4) 生徒の課題にあわせたタイムリーな教職員研修会を展開する。</p>	進路			

4 生徒指導	生徒会活動の充実	(1)生徒会本部・各種委員会の活動をさらに活発化させ、学校行事・部活動の核となる集団を育てる。	生徒指導			
	基本的な生活習慣の確立	(1)遅刻0をめざし指導に取り組む。 (2)髪型はもちろん制服の正しい着用や身だしなみの指導を推進する。 (3)挨拶・会釈を励行する。 (4)授業を大切にするための環境・条件整備に協力する。	生徒指導			
	部活動の活性化	(1)部活動の定着率を上げ、各部の活性化を図りながら、全国・近畿で通用する結果を出す。 (2)顧問会議やキャプテン会議を開き、部員の研修会等を実施する。	生徒指導			
	問題行動の未然防止	(1)朝の登校指導や校内巡視等による点検を細かく実施することにより、問題行動等の未然防止に努める。 (2)生徒たちの意識向上のための働きかけを継続的に行う。	生徒指導			
	安全指導	(1)登下校時の安全指導を中心に自転車の乗車マナー向上に心がける。 (2)雨合羽の着用を指導する。	生徒指導			
	人権教育	(1)教育活動全体に人権活動を位置付け、一人一人を大切にされた教育の推進を図る。 (2)家庭、学校、地域社会、関係諸機関との連携を密にした指導を展開する。	総務企画			
5 健康安全	健康に関する知識・意識の高揚	(1)各種健康診断を丁寧に実施する。 (2)生徒の実態に応じた保健活動（講演会等）を実施する。 (3)心理面や発達に課題を持つ生徒の指導を、担任・保護者・スクールカウンセラー及び関係機関と連携を図り、効果的に行う。 (4)生徒の生活実態アンケートを実施し、健康課題を探り、課題解決を図る。	保健			
	学習環境の美化整備	(1)日常の清掃・定期大掃除・外庭大掃除の指導を徹底する。 (2)美化委員及び教職員等による日常・定期清掃点検を実施する。 (3)美化委員会による環境整備（花壇整備等）の充実を図る。 (4)照度・水質・空気検査を計画的に実施する。	保健			
6 図書館経営	図書館の円滑な運営と図書館教育、視聴覚教育の充実	(1)教育活動を支える生徒の教養の育成を促す資料の充実を図り、図書館を円滑に運用する。 (2)団体鑑賞行事を実施する。 (3)視聴覚教材、機器の充実を図る。 (4)コンピュータによる書籍管理、貸出業務の実施。 (5)視聴覚教育研究会事務局校としての業務を行う。	図書			
	図書委員会の充実	(1)図書委員会の指導と、委員会行事の充実を図る。 (2)図書館見学会・図書委員会交流会を本校で実施する。	図書			

7 地域連携	学校情報の発信	(1) 学校だより（おとくに Tribune）を月 1 回発行し、本校の様子を発信する。 (2) ホームページの更新をタイムリーに行う。 (3) 開放型地域スポーツクラブ等の活動を通して、地域にスポーツ活動を通した本校の魅力を伝える。	総務企画			
	ボランティア活動の実施	(1) 長岡京市、向日町警察署等と連携しながら各種取組に参加協力する。また、「長岡京緑のサポーター」及び「地域安心安全ステーション」に取り組む。	生徒指導			
8 スポーツ健康科学科	スポーツ健康科学科充実に向けた取組の推進	(1) 進学する体育系専門学科であるスポーツ健康科学科をさらに周知させるために、学校説明会、中学校訪問、関係教育機関への訪問を積極的に実施する。 (2) 最新のスポーツ健康科学情報を取り入れるため、積極的にアドバイザー等を活用した高大連携授業を充実させる。 (3) 高い進路目標を実現する体育系専門学科にふさわしい学力の充実、定着に努める。	スポーツ健康科学			
9 校務事務	生徒の福利厚生	(1) 修学支援の適切な運用を図る。 (2) 諸費収納事務の円滑な運用を図る。 (3) 諸証明等発行事務の円滑な運用を図る。	事務			
	財産・施設・設備、物品管理	(1) 校舎・施設等の適正な維持管理を図る。 (2) 快適な学習環境の維持・充実を図る。 (3) 適正な物品管理を行う。	事務			
	個人情報保護	(1) セキュリティを考慮しつつ、利用しやすいネットワーク環境を一層充実させる。 (2) 職員室、準備室における管理区域（生徒・部外者立入禁止区域）を設定し、個人情報流失の危険性を排除する。	総務企画			

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--

A：達成できている。 B：ほぼ達成できている。 C：あまり達成できていない。 D：ほとんど達成できていない。